



# WING

International Friendship "WING"

代表 和田 幸夫

TEL: 090-3497-2110

発行人 小原 千種

## A 2017年度総会 (18:00~18:30)

### (1) 2016年度の活動総括

新体制になって3年目を迎えた2016年度を振り返って見ると、月例の講師探しやテーマ選びに苦戦。日本に馴染みの少ない国選びもアゼルバイジャンやセルビアなど留学生の協力で実現したがタネ不足は免れなかった。

国際理解講座として日本統治下にあった反日、親日と言われる韓国、台湾の講師に国際友好を図るテーマで講演してもらったことはとても良かったと思っている。さらに国立の子供達向けのイベント「日本とポーランドの友好の歴史」を学び大使館を訪問して親善友好を深めることが出来たのは最大の成果だった(国立市役所のホームページ国際交流事業として掲載)

最後に「活動方針に掲げた留学生との交流を点から線に」は自己評価50点で来季につなげていきたい。

(代表 和田幸夫)



### (2) 2016年度の活動報告

年月	行事	内容
4月21日	異文化コミュニケーション	パキスタンの歴史・文化・紹介 カーン氏
5月19日	異文化コミュニケーション	イランの紹介 ホセイン、ラテイフィ夫妻
6月16日	異文化コミュニケーション	「セルビアの歴史・文化について」ヤイチ氏
7月21日	異文化コミュニケーション	アゼルバイジャン紹介ムラドリ・アイダンさん
8月26日	国立の子供達向けイベント	「日本とポーランドとの友好の絆」を学ぶ
9月15日	一橋大学生の留学体験報告	米国、台湾、英国、ベルギー 大石さん他
10月20日	国際理解講座	「台湾、日本統治の光と影」呉采摸氏
11月17日	異文化コミュニケーション	ブルガリアの歴史・文化コエバ・ステラさん
12月15日	忘年会	
1月19日	国際理解講座	「日韓の懸け橋になった人達」 韓国仁荷大 李京柱教授
2月16日	なぜ、親日国になったのか討論	ポーランド、ウズベキスタン、セルビア
3月16日	一橋大学生短期留学体験報告	フランス・スイス中近世に栄えた都市文化

### (3) 2017年度WING活動方針と計画

#### 1. 活動方針

今年度は昨年度の反省を踏まえて以下の点を重点に活動する。

- (1) スタッフを強化し活動の活性化と会員増を目指す。
- (2) 留学生と子供や市民との交流を増やし、国際交流の根を広げる。

#### 2. 活動計画

- (1) WINGに学生部を設け、一橋大学生主体に会員やサポーターを増やす。
- (2) 留学生と小中学生との交流を増やし、子供たちの人材育成支援をおこなう。
- (3) 子供や市民と留学生や在住外国人との交流イベントを行う。

年月	行 事	内 容
4/20	異文化コミュニケーション	リトアニアの歴史・文化紹介 クレイヴァ氏
5/18	異文化コミュニケーション	オーストラリアの紹介 スティーブン氏
6/4	イベント	子供達と外国人との国立散策交流
7/20	国際理解講座	中国編 テーマ未定
	夏休み	
9/21	異文化コミュニケーション	
10/19	国際理解講座又はイベント	
11/16	異文化コミュニケーション	
12/14	忘年会	
1/18	異文化コミュニケーション	
	休み	
3/4	イベント	国立小中学生と留学生との交流
3/15	総会	活動報告 会計・監査報告など

### (4) 会計報告と承認

2016年度会計報告と監査報告 2017年度予算(案) (別紙参照)

\*会計 橋本慧子 向井みどり \*会計監査 相田利雄

### (5) 2017年度 役員改選

\*代表 和田幸夫 \*副代表兼会計監査 和泉喜元

\*事務局 小原千種 \*会計 山根浩子

\*広報 杉本敬太郎 和田貴博

\* 学生部 代表・大石凌平 スタッフ・松山英里香

## B 今月の国際理解講座

日時 2017年3月16日(第3木曜日) 18:30~20:30 国際交流会館1階ホール

演題 フランス・スイス短期海外調査報告

内容 リオン~ジュネーブ~ストラスブールなどの中近世に栄えた村や都市視察を主に、WTO、欧州会議場訪問などを紹介。

講師 一橋大学経済学部GLPメンバー

関戸陽美さん、岡本尚樹さん、中森香音さん、宮田将季さん

## 次回の国際理解講座

日時 2017年4月20日(第3木曜日) 18:30~20:30 国際交流会館1階ホール

演題 異文化コミュニケーション

内容 リトアニアの歴史、文化、諸事情について

講師 :Andrius Kleiva(クレイヴァ・アンドリュウス)氏

一橋大学法学部に在籍。法律を専攻。生まれも育ちもリトアニア出身のクレイヴァ氏は、高校を卒業後、パリ政治学院に正規学生として入学。

## C 報告事項

2月の異文化コミュニケーションは、「なぜ、私たちの国が親日国になったのか」をテーマに3か国の事例発表を一橋大学・留学生の皆様から。そして昨夏、「日本とポーランドの友好の歴史」のイベントとして国立の子供達とポーランド大使館を訪問し、絆を深めた報告など中身の濃い講座だったと思います。会員の杉本さんから所感の寄稿文を頂戴しています。(小原千種 記)

セルビア、ウズベキスタン、ポーランドという、3つの国と日本との絆の事例を3人の留学生が紹介してくれた今回。

セルビアのヤイッチ・スロボダンさんは、東日本大震災の時にヨーロッパで一番多くの義捐金が集まった話。

ウズベキスタンのスルトノバ・ヒーローラさんは、第二次世界大戦後にシベリアで抑留された旧日本兵が建設したナヴォイ劇場の話。

そしてポーランドのアレクサンドラ・ファルコフスカさんは、第一次世界大戦後の戦争孤児を、その当時ポーランドとの国交がなかった日本政府が受け入れた話。

そのどれもが、こういう機会がなければ知ることがなかった、日本の先人が世界の国々で行ってきた歴史の数々。先人は、決して「情けは人の為ならず」というつもりでは無かっただろうけれども、そのお蔭で、たくさん留学生が日本に学びに来てくれるなど、今の私達はたくさん恩恵を受けている。

合わせて、国立市役所と共催で行ったポーランド大使館訪問の報告を会員の和田貴博さんから。参加した中高学生が、ポーランド語で挨拶をした時に大使館の方が驚いたというエピソードは、世界にはたくさんの言葉や文化があるという事を実体験できる、真のグローバル教育としてうってつけだと感じた。第二弾を期待したい。(広報担当 杉本敬太郎 記)

向かって左の写真は、ポーランド大使館の大使室で大使や参加者達と。

右の写真は、大使館内で一等書記官のオスミツカさんに質問する子供達。

